

「つながり名簿」を活用した港区地域見守りマッピングの推進

現状：昨年大きな被害を及ぼした6月の大阪北部地震及び9月の台風21号の際、地域の見守り活動団体による安否確認が行われたが、時間帯により人員の確保が難しかったことや重複した安否確認が行われるなどの状況があった。

課題

- ・日中は就労中の方も多く、日常の見守り活動を行う団体だけで災害時の安否確認を担うには人員確保に限界がある。
- ・災害時の安否確認は日頃の見守り活動の延長であるため、見守り活動団体と自主防災組織との連携と協働が必要である。
- ・迅速かつ効果的な安否確認のためには団体の枠を超えた体制を考える必要がある。

対策・具体的取り組み

《地域見守りマッピングの実施》

見守り対象者と支援者（日常と災害時）の所在地を地図上に図示することで日頃の見守り活動や災害時の安否確認の体制や役割分担を明確にすることができる。

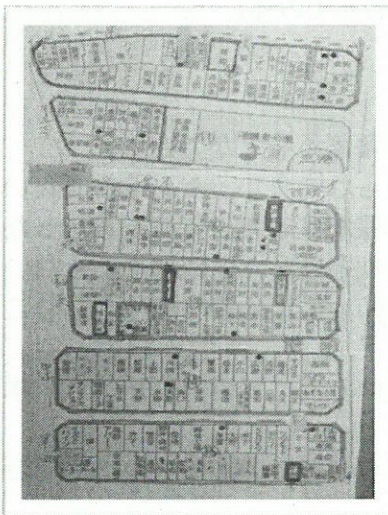
— マッピングの効果 —

- ・地図に落とすことで、名簿情報を「見える化」することができる。
- ・各団体の持つ情報を一つにできる。
- ・「見守り活動」をテーマに団体の枠を超え話し合える場となる。
- ・見守りが必要な方を日頃から把握しておくことで、災害時の迅速な安否確認につながる。



地域見守りマッピングの手順（例）

各団体が自分の住む町会毎でチームとなり、拡大した町会地図に、見守り対象者と支援者の所在地をシールやマーカーを用いて色分けしていく手法。



- ①町会毎に地図を拡大する。
- ②見守り対象者にシールを貼る。
要援護者名簿の高齢者 ●、障がい者 ●
民生委員名簿の70歳以上独居高齢者 ●
名簿にないが気になる心配な方 ●
- ③活動の担い手をマーカーで囲む。
町会長・女性部長 ピンク色、民生委員 緑色
NW委員 赤色、防災リーダー 茶色
- ④安否確認の担当地域を水色マーカーで囲む。
- ⑤各班で感想や課題を発表・共有し次回につなげる。

— 支援者 —

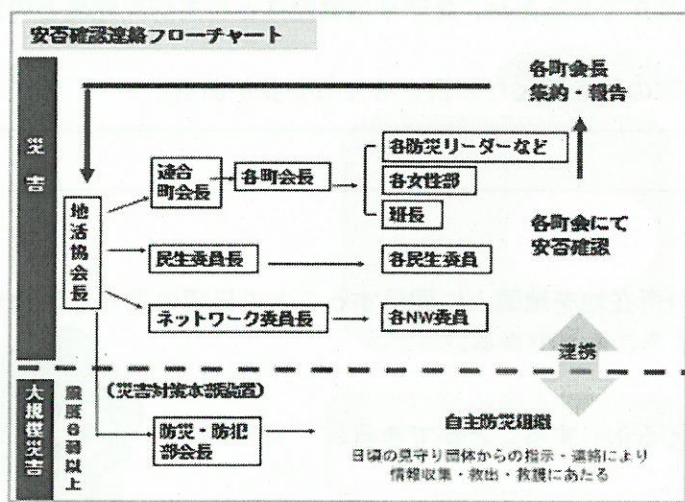
- 町会長 ●女性部長 ●民生委員
- NW委員 ●防災リーダー、防災担当者など

— 見守り対象者 —

- つながり名簿（要援護者名簿）
- 民生委員作成名簿 ●気になる心配な方など

《 マッピングの成果 》

- ・ 町会単位の状態をつぶさに把握することができるようになった。
- ・ 各団体同士の横の連携が深まった。
- ・ 「見守り活動」に対する意識と士気が上がり、協力体制が高まった。
- ・ 普段からのさりげない見守り（あいさつ・声かけ・井戸端会議）を大切にすることが災害時の迅速な安否確認にもつながることなどを共有できた。
- ・ 災害時の安否確認のための連絡網を作成することができた。



《 安否確認連絡フローチャート 》

あいさつなど暮らしの中でのさりげない見守り、ふれあい喫茶など地域活動の中での見守り、その延長上にこのフローチャートがある。対象者のことを日頃からよく知る見守り活動団体と自主防災がとの連携と協働することで、大規模災害時にはより効率的で効果的な安否確認につなげることができる。

《 課題 》

- ・ 個人情報の問題があり、マップを所有できる人をどこまでにするのか。
- ・ 安否確認の優先順位をどのようにつけるか。
- ・ 普段の見守り方法の整理と、災害時の迅速な安否確認の具体的方法や手順、訓練が必要。

《 今後の目標 》

- ・ 地域の防災訓練でマップを活用してみる。
- ・ 対象者も活動者も変化する中、マッピングの手法を定着させるためにも毎年夏頃更新する。
- ・ 一つの町会をモデルに、班長を交えてマッピングを行ってみる。

《 マッピング参加者の気付き・感想 》



- ・ これからは町会単位で考えることができる。
- ・ 各団体の情報がまとめられて良かった。役立てたいと思う。
- ・ 単独では知りえない情報が共有できて有意義だった。
- ・ みんなで考えると楽だなと感じた。続けていきたい。
- ・ 名簿にない自分たちの知っている情報を盛り込むことができたのが良かった。
- ・ 更新が必要、その際にはみんなで協力したいし、本日休んだ方にも共有したい。
- ・ これからは情報が分からないときはお互いに聞き合うことができると思う。
- ・ 町会毎に見守り活動団体が集まったのは初めてで、大変有意義な時間であった。
- ・ 今後も団体の枠を超え情報を共有し合えるきっかけになった。

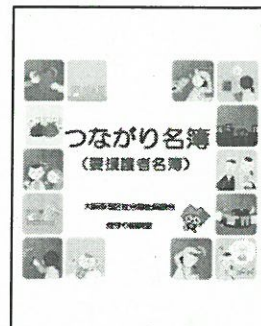
これまでの働きかけと推進状況

《平成29年度》

- ・各地域ネットワーク委員会でつながり名簿を用いた見守り活動について資料にて説明。
- ・築港地域・南市岡地域で地域見守りマッピング実施。
- ・「地域における見守り活動のこれから」と題し、つながり名簿活用促進と見守りマッピング作成について啓発講演会を開催。

《平成30年度》

- ・各地域ネットワーク委員会、各地域民生委員会にてつながり名簿を用いた見守り活動や各団体の横の連携について冊子を用いて説明。
- ・「つながり合える地域みんなと（港）」と題し「見守り活動」や「居場所づくり」について地域の取り組み報告と啓発講演会を開催。
- ・港晴地域で地域見守りマッピング実施。



《平成31年・令和元年》

- ・港晴地域で2回目、三先地域で地域見守りマッピング実施。（磯路地域も年度内に実施予定）
- ・「地域のお宝見い〜つけた〜お宝ってなんだ！？〜」と題し「見守り活動」「居場所づくり」「支え合い」について取り組み報告と啓発講演会の開催。

お問合せ： 港区社会福祉協議会 見守り相談室

☎06-6575-1214 Fax06-6575-1025

✉minatokushakyo@zeus.eonet.ne.jp